

12月4日、卓越した技能を有する仙北市技能功労者表彰者の選考会が開催され、12月23日に3人の方々に表彰が行われました。受賞者は、各業界団体などが個人を推薦し、大曲仙北職業訓練協会や仙北市商工会、秋田県仙北建設業協会などで構成する選考委員会を経て決定しました。受賞者は次のとおり。

家業である木工業において、父である今野正夫氏に師事し、木工技術の基礎技術を学びながら昭和54年に父の跡を継ぎ今野木工所の代表に就任し現在に至る。家屋の建具をはじめタンス製作などにおいて、従来の技法に加え現代生活に適応した木工品の創作を行う。

現在息子に木工技術継承のほか、提灯製作においては4人の弟子を育成し多くの職人から高い評価を得ている。

また、現在角館のお祭り保存会長を務め、提灯製作を通じてながらお祭りのご意見番として伝統継承を担い、地域発展および業界団体発展に大きく貢献している。

## 各分野の発展に貢献

# 仙北市 技能功労者表彰



分野：木工  
今野則夫さん  
(71歳 角館町小籠)



分野：建設  
古郡和男さん  
(66歳 田沢湖生保内)



分野：石材  
大坂吉郎さん  
(78歳 田沢湖神代)

昭和59年4月に日高建設株式会社に勤務し、様々な現場の施工に携わる。

卓越した技術と豊かな経験をもちに安全に配慮した施工技術は、現場の段取りから完成まで必要な存在として業界内でも高い評価を得ており、国土交通省東北地方整備局長からは安全表彰および優良工事表彰を受賞している。

また、長年にわたり、日高建設株式会社において工事部長として技術者育成に取り組みながら、田沢湖建設業協会主催の講習会や技術向上を目的とする研修会に参加し、業界団体発展に大きく貢献している。

旧大曲市や東京都の石材店で石崩施工や墓石加工技術を一から学び、昭和54年に大坂石工店を設立し現在に至る。

63年間の経験を活かした高度な技術とともに、仕事に対して真摯に取り組む姿勢や朗らかな人柄により人望が厚く、業界内からも高く評価されている。また、小中学生対象の体験教室のボランティア活動を行うなど地域貢献活動にも尽力している。

平成12年から平成22年まで神代建設技能組合理事を務め、平成22年からは大曲仙北建設技能組合連合会副会長および大曲仙北石工業組合理事に就任し、現在も業界団体の発展に大きく貢献している。



新しい教育委員の須田喬さん。

前教育委員会委員の安部哲男さんが退任されたことに伴い、新しい教育委員会委員に須田喬さん（田沢湖生保内）を任命する議案が、第7回市議会定例会で同意されました。

須田さんの任期は、令和2年12月22日～令和6年12月21日までの4年間となります。

## 新しい教育委員を 紹介します

# 秋の叙勲

令和2年秋の叙勲の受章者が発表され、仙北市からは次の方々が受章されました。心からお祝い申し上げます。（※年齢は受章時を掲載）



## 旭日双光章

地方自治功労

田代千代志さん  
(71歳 西木町松木内)

元西木村長。平成8年8月、西木村長に初当選。以来、平成17年9月の町村合併まで9年余りの長きにわたり努められました。また、昭和60年9月に西木村議会議員に初当選、平成8年7月までの10年10か月にわたり在職し、この間、議会議長をはじめ、議会運営委員会副委員長や経済建設常任委員会委員長などを歴任、地方自治の発展に尽力されました。



## 瑞宝双光章

更生保護功労

藤本得夫さん  
(73歳 田沢湖岡崎)

保護司。昭和57年10月に保護司に任命。以来、平成19年に角館地区保護司会理事、平成28年に同副会長に就任し現在に至ります。また、平成30年に開所した角館地区更生保護サポートセンターのセンター長としてその運営にあたっています。保護司として相談者の社会復帰への支援をはじめ、犯罪防止活動などにより地域の安心・安全のために尽力されました。



## 瑞宝単光章

消防功労

相馬武夫さん  
(72歳 角館町白岩)

元仙北市消防団分団長。昭和42年角館町消防団に入団。平成22年から平成23年まで分団長として活躍。入団より、44年間の長きにわたり地域の防火・防災のリーダーとして尽力されました。また、豊富な経験と優れた指導力で住民の生命・財産を守り、団員の育成強化に努められました。



監督の曾根剛さん。

と話しました。また、主演の工藤綾乃さんは「東北を訪れるのは、今回の撮影が初めて。雪国の素晴らしい景色にふれ、美味しい料理をいただき幸せな撮影だと感じてい

る。素敵な作品になると思うので、精いっぱい主演を務めたい」と話しました。また、2日間の撮影を通して「撮影には地元の方々から様々な協力をいただいた。人の温かさを感じて実家に帰ってきたような感覚を味わうことができた」と仙北市の印象を話しました。

映画は東北6県の各地域で撮影、製作された五つのショートムービーをオムニバス形式でつなぐ1本。これは、吉本興業が実施する地域活性化のプロジェクトで、地域住民が脚本や出演などの映画製作に参加、映画を通して地域の魅力を全

国に発信するもので。仙北市と栗石町を舞台に製作される映画「リフレインの鼓動」は、東京で夢に破れた一人の少女が、時空を超えて家族や色々な人と出会い、絆や生きる意味を考えるストーリー。

撮影は、秋田内陸線の車内や田沢湖畔、角館の武家屋敷通りで行われ、完成した作品は3月に宮城県仙台市で開催される「絆」の映画祭で上映後、令和3年中に公開される予定です。

## 映画を通じて地域を全国に発信 仙北市と岩手県栗石町を 舞台に映画製作



主人公の少女役を演じる工藤綾乃さん。

今年は、東日本大震災から10年。これを機に、吉本興業などが東北6県を舞台に製作する地域発信型映画の撮影地が仙北市と岩手県栗石町に決まり、その発表会見が12月24日、角館庁舎で行われました。

山梨県西湖でクニマスが発見されてから、12月15日で10年が経ちました。この間、仙北市では秋田県をはじめ、国や大学等の研究機関などと連携し、田沢湖の再生とクニマスの里帰りに向けた様々な取り組みを行ってきました。

しかし、田沢湖の水質改善は目標どおりには進まず、鳴き砂の復活や生態系の回復などにはまだ

まだまだ多くの時間が必要であり、現時点で新たな取り組みの目途は立っていません。こうした現状などを踏まえ、この度、仙北市と環境活動に取り組む市民団体などが「田沢湖再生ネットワーク」を発足し、市外・県外にも田沢湖に関わる人々を増やすとともに、多様な組織・団体などの連携や協働の取り組みを推進していくことにしました。

## 田沢湖再生ネットワークが発足しました



現在、田沢湖再生ネットワークでは会員制交流サイト「Facebook」(フェイスブック)を活用した情報発信を開始しており、今後、田沢湖クニマス未来館においてミニフォーラムなどを開催し、新たな情報提供と意見交換などを行う予定です。

## 田沢湖再生とクニマスの里帰りに向けて

1時間の交流を終え、生徒会長の森春奈さん(2年)にお話をうかがうと「役割分担や文章を考えて覚えたりと短い準備期間だったがお互いに楽しくできた。実際に会って交流するほうがいいが、学校の様子を知ったり、自由にできたりするのはオンラインだからこそ」と楽しかった様子です。また、「これからもつながりを大切にして

もっと台湾を知ることができたいな」と話しました。また、プログラムを考案し準備や進行も務めた国際交流員の黄敏さんは「生保内中の皆さんは積極的に恐れずにやりとりをしていて、とてもキラキラしていました。私も楽しかった」と話しました。



充実したオンライン交流を終え、みんな笑顔です。



12月21日、生保内中学校と北投国民中学(台湾台北市)によるオンライン交流が行われました。両校は、令和元年4月に姉妹校提携を結び、同日には北投国民中学の生徒などが来校して交流を深めています。本来であれば昨年は生保内中学校が台湾を訪れる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました。しかし、交流は続けていきたいと、ビデオ会議のアプリを使用した交流会が提案され、今回のオンライン交流に至ります。

また、雪に馴染みのない北投国民中学の皆さんに仙北市の雪景色を見せると歓声が上がりました。離れていても、その場にいるかのような体験をできるのもオンライン交流のよいところです。

生徒たちは、英語を話すのが上手。交流もスムーズです。



## オンラインで 交流を深める

おすすめの場所では、両校とも手作りのパネルを使い、まちや学校の様子が紹介されました。台湾の図書室が紹介されると、副会長の永井一花さんは「本は何冊くらいあるんだろう」と、さらに興味を深めたようでした。



生徒たちは、英語を話すのが上手。交流もスムーズです。

## 新たな仙北市の創出に向けて 新角館庁舎竣工記念式典



正面入口前で関係者によるテープカットが行われました。

12月21日に仙北市新角館庁舎の竣工を記念して「角館庁舎竣工式」が開催されました。式典には佐竹敬久秋田県知事、御法川信英衆議院議員、加賀屋千鶴子秋田県議会議員など来賓や関係者およそ70人が新角館庁舎の竣工をお祝いしました。始めに竣工式神事が行われ、角館庁舎の無事完成と感謝を報告。雪が少しちらつく中行われたテープカットセレモニーでは、完成を祝い仙北市の未来への出発を祈念して張り渡したテープが切られました。竣工記念式典では門脇光浩市長から「角館庁舎は伝統と先進

技術を兼ね備えた新しいまちづくり拠点であり、今を未来につなぐ起点である。事業系4部門（市民福祉部、建設部、観光文化スポーツ部、農林商工部）を集約したことにより、新型コロナウイルス感染症対策も含めて市民のニーズに対応できる総合力と瞬発力が向上する。改善や対応を繰り返し成長を続ける庁舎にするため、市民の皆さまにも大事に育てていただきたい」と式辞が述べられました。

次に角館庁舎建設事業にご尽力いただいた方々への感謝状の贈呈と寄贈品の授与が行われました。

この後、来賓のあいさつとして佐竹敬久秋田県知事から「庁舎が移動すればまちが変わる。新角館庁舎は機能がたくさんあり、人が集まりやすい場所にある。今後は新庁舎と旧庁舎の二つの核をどのように結びつけて、仙北市をどう発展させていくのかを市民と一緒に知恵を出しあってほしい」と発展を祈念するお言葉をいただきました。

### 【感謝状】（敬称略）

- ◆ ㈱佐藤総合計画 東北オフィス代表 早川謙二
- ◆ 瀧神・小松・寺沢特定建設工事共同企業体代表 ㈱瀧神巧業代表 取締役 佐藤慎
- ◆ 大曲・瀧神・寺沢特定建設工事共同企業体代表 大曲建設工業㈱代表取締役 伊藤靖
- ◆ ㈱瀧神巧業 代表取締役 佐藤慎
- ◆ ㈱森元組 代表取締役 高橋友喜
- ◆ 角館建設工業㈱ 代表取締役 仲野谷藤吾
- ◆ ㈱角西建設 代表取締役 鈴木幸二

### 【寄贈品】（敬称略）

- ◆ 元仙北市芸術文化協会 会長 佐藤貞一
- ◆ 秋田銀行 代表取締役 新谷明弘
- ◆ あきぎん会 会長 堺研太郎
- ◆ 北都会 会長 仲野谷藤吾

## ☆ 心を癒す鮮やかな光 ☆

### 田沢湖駅前のイルミネーション



彩り豊かなイルミネーションに気分が上がります。

12月13日から田沢湖駅前がきれいなイルミネーションで彩られています。今年で6回目となる田沢湖駅前のイルミネーション。これは、田沢湖駅前広場を活用する会「こまちの会」（村上陽子会長）が駅前を賑やかにしたいとの思いで実施しているものです。こまちの会の皆さんが、電球に不具合がないか事前準備などを行い、点灯当日は株式会社工レックさくらがボランティアで設置を行いました。

今年はコロナ禍でやるかどうか迷っていたという村上会長。しかし、「自粛で出かける機会も少なかった今年こそやらなきゃいけない。明かりをつけて暗い心のともしびになってくれたら」と思いを話してくれました。また、「地域の人々の理解のおかげでできている。感謝の気持ちでいっぱい。ぜひ雪に映える光を見てもらい気持ちを癒してほしい」と話しました。

点灯期間は3月21日17時まで、時間は16時30分～22時までです。

## 冬期森林レクリエーションの人口拡大に向けた取り組みに関する協定を締結

### 児童・生徒にリフト券を配布

12月11日、田沢湖高原リフト株式会社と一般財団法人日本森林業振興会秋田支部と仙北市の3者が「冬期森林レクリエーション（スキー等）人口拡大に向けた取り組みに関する協定」を締結しました。この協定は、低迷するスキーなどの冬期の森林レクリエーションについて、秋田県内の小学校の児童、仙北市内の中学校・高校に在籍する生徒全員にリフト券を配布し、冬期のレクリエーション活動への参加拡大を目的とするもので、県内初の取り組みとなります。

同社の東海林文和代表取締役社長は「地元の皆さんにスキーなどのアウトドアを楽しんだり、健康増進にたくさんスキー場を利用していただければ」と話しました。また、同支部の木村大助支部長は「毎年参加者を募って開催していたスキー教室は今年はコロナ禍でできずに残念だが、これを機にスキー人口の拡大、地域の皆さん、地域経済に貢献できれば」と話しました。

今後、リフト券は学校を通じて配布されます。コロナ禍で野外活動が少なくなったり、家で過ごす時間が長くなっている中、運動不足の解消や、冬のスポーツを楽しむみましょう。



右から協定を取り交わした田沢湖高原リフト㈱の東海林文和代表取締役社長、一般財団法人日本森林業振興会秋田支部の木村大助支部長、門脇市長。

### 善意ありがたいお礼です。

### 新角館庁舎竣工記念として

## あきぎん会と北都会がそれぞれ寄贈

この度、新角館庁舎竣工記念品として、あきぎん会（秋田銀行角館支店後援会組織）よりテレビとテレビ台を、北都会（北都銀行角館支店後援会組織）より車いす2台を寄贈いただきました。12月14日にはあきぎん会の堺研太郎会長から門脇市長に目録が手渡されました。堺会長は「市民に愛される庁舎にと今回寄贈した。仙北市がますます発展するように願っている」と話しました。



右から秋田銀行角館支店の藤原博宣支店長、あきぎん会の堺会長、門脇市長、倉橋副市長。

寄贈品は、角館庁舎2階の205会議室に設置されています。また、12月17日には北都会の仲野谷藤吾会長から門脇市長に目録が手渡されました。仲野谷会長は「角館庁舎開庁にあたり、仙北市を盛り上げるためになにかできることはないかというのがきっかけだった。地域のため有効に活用してほしい」と話しました。

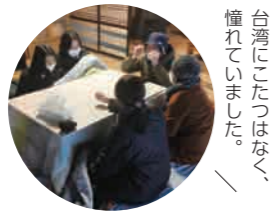


右から北都銀行角館支店の高橋信晴支店長、北都会の仲野谷会長、門脇市長、倉橋副市長。



皆さん、あけましておめでとうございます！今回は普段より少しテンション高めでお原稿を書いているのですが、なぜかという、ちょうど今日(1月16日)が私の誕生日です。

出身は南国ですが、冬に生まれたからか、寒いところが大好きです。2年前秋田に旅行で来た際、延々と続く雪原を走り抜けていく電車に乗り、窓から見た真っ白な山脈がとてつもなく懐かしく感じていました。秋田に来てもうすぐ1年半



台湾にこたつはなく、慣れていました。

が経ちますが、今考えると、山々に呼び戻された気がしました。

さて、今回はせっかくなので、皆さんと星座の話をしたいです。台湾にも日本と同じように星座占いがあります。ですが、日本と違う点は星座ごとにその人がどういう性格なのかを表していることです。日本に置き換えると、血液型みたいなものです。私も人の星座を聞いて、「ふーん、ああいう人なんだ」とこっそり参考にしています。

下に書いている内容で自分の星座を探して、また家族や友だちのも見て、参考程度に楽しんでね！

**山羊座** (12月23日～1月21日生まれ)  
規律を守る計画的な努力家。ただし冷たい、つまらない人と感じさせることもある。

**水瓶座** (1月22日～2月19日生まれ)  
創作力と研究意欲が強い。ただ考えが尖りすぎて、世間と合わず一匹狼のイメージがある。

**魚座** (2月20日～3月20日生まれ)  
人に対して包容力と思いやりはあるが、でも調和を求めすぎて、自己催眠や自分の心を偽る傾向がある。

**牡羊座** (3月21日～4月20日生まれ)  
効率よくすぐ行動に移すが、三日坊主なところもあり衝動的過ぎる印象がある。

**牡牛座** (4月21日～5月20日生まれ)  
保守的かつ現実的なタイプ。物質的な豊かさを重視し、忍耐力は人一倍あるが、固執して融通がきかない部分もある。

**双子座** (5月21日～6月20日生まれ)  
空気を読むのがうまく、コミュニケーション能力が高い。臨機応変に動けるが、気まぐれで流されやすく、薄っぺらい印象がある。

**蟹座** (6月21日～7月22日生まれ)  
家庭を大切に、安心感と保護を求めめるため、決まった領域で生活したいタイプ。なので排外性、防衛心が強く、閉じこもりやすい。

**獅子座** (7月23日～8月22日生まれ)  
自尊心が強く、主導者になる資質と意欲が強い。しかし、注目を得られないと過剰な自己表現をする傾向がある。

**乙女座** (8月23日～9月22日生まれ)  
人を見る目が鋭く、分析するのが得意。繊細で完璧主義なので、イレギュラーなことに遭うと神経質になり、パニックになる。

**天秤座** (9月23日～10月22日生まれ)  
芸術的な感性の持ち主。すべてを公平かつ客観的な態度で見ることが、バランスをとりすぎて、優柔不断という一面もある。

**蠍座** (10月23日～11月22日生まれ)  
先見の明があり、強い意志の持ち主で秘密を守れる人。ただし嫉妬深く、疑心、独占欲、復讐心が強いタイプともいえる。

**射手座** (11月23日～12月22日生まれ)  
楽観的かつ理想的、自由を好むタイプ。ただし、大雑把な性格で責任感がないように見える。

いかがでしたでしょうか。当てはまる場所はありましたか。星座で人の性格のすべてを知ることができませんが、自分と大切な人のことを考える時間に少しでもなっていたら嬉しいです。

このほど生保内小学校金管バンドが「第49回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会」フェスティバルの部でファントスティックビート賞と特別賞にあたるフォトクリエイトフォトチョイス賞を受賞しました。今大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、映像データを提出し、オンライン配信によるビデオ審査で行われました。

12月15日、受賞の報告に市役所田沢湖庁舎に訪れました。部員は3年生から6年生の11人。夏休み前に楽譜が配られ4か月ほど練習に励んだとのこと。撮影担当は「2、3回演奏して、めっちゃ緊張したけど練習よりもうまくできた」と話す副部長の田口美愛さん。演奏したのは「A列車で行こう」「いい日旅立ち」「銀河鉄道999」の3曲を編曲したメドレーです。衣装は、曲のイメージに合わせて保護者の皆さんが準備したそうです。また、部長の大久保結音さんは「練習した成果が発揮できた」と受賞を喜んでいました。

第49回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会フェスティバルの部

生保内小学校金管バンドが特別賞を受賞



前列右から部長の大久保結音さん、副部長の田口美愛さん。後列右から指導にあたった田口寿宜さん・菅原裕先生、藤田寿校長、門脇市長。



かくのだてフィルムコミッション

ロケーションだより  
Kakunodate Film Commission

昨年は、かくのだてフィルムコミッション(以下FC)を支援いただき、ありがとうございました。本年もよろしくお祈りします。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、生活様式が一変した2020年、かくのだてFCの活動について深く考えた一年でした。

昨年春以降はロケ支援もほとんどありませんでしたが、旅行者向けGOTOトラベル事業が始まった9月頃から支援の案件も増えてきました。

11月中旬には、東北の麺文化をテーマにした海外向けのプロモーション撮影の支援を行いました。日本在住の外国人スタッフが角館を訪れ、ラーメン店の「自家製麺伊藤」と稲庭うどん店の「ふきや」を撮影しました。角館の麺文化が外国人にどう捉えられたのでしょうか。完成した作品はYouTube

かくのだてフィルムコミッション  
(仙北市観光課内) ☎43-3352  
<https://kakunodate-fc.jp/>



紅葉の武家屋敷での取材風景。

ブで公開予定ですので、楽しみに待ちたいと思います。また同じスタッフが行った「Tokyo Weekend」という外国人向けの雑誌の取材にも協力しました。こちらは、日本文化の特集で、武家屋敷の「青柳家」、商家の「田鉄家」、さらに人力車などが取り上げられました。取材では、昔の暮らしぶり、家柄、歴史、背景などについて聞き取り、強く関心を持っていただいた際には、たくさんの方に訪れていただき、角館の文化にふれていただきたいと思います。

本年もかくのだてFCは、ロケ誘致や支援活動を通じて地域振興に貢献していきます。市民の皆さまのご協力をお願いします。

(会長 坂本 洋)